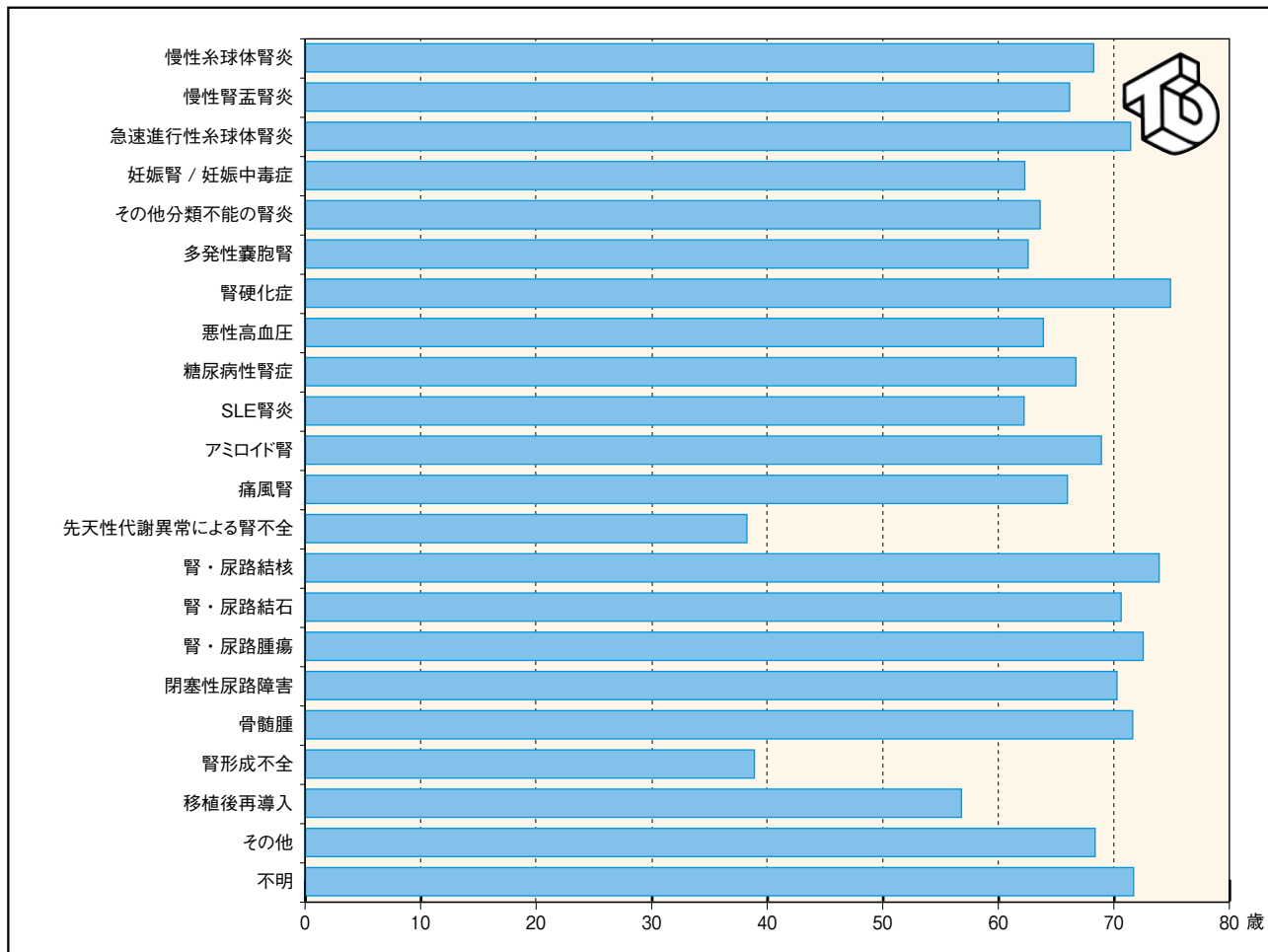


### 3) 導入患者の現状

#### (2) 導入患者の原疾患と平均年齢 (図表10)



原疾患	患者数 (%)	平均年齢	標準偏差
慢性糸球体腎炎	7,078 (19.4)	68.21	14.38
慢性腎盂腎炎	281 (0.8)	66.13	15.71
急速進行性糸球体腎炎	487 (1.3)	71.41	13.37
妊娠腎 / 妊娠中毒症	36 (0.1)	62.25	12.01
その他分類不能の腎炎	144 (0.4)	63.58	18.31
多発性嚢胞腎	932 (2.6)	62.54	12.95
腎硬化症	4,484 (12.3)	74.86	11.27
悪性高血圧	300 (0.8)	63.86	17.46
糖尿病性腎症	16,119 (44.1)	66.68	11.98
SLE腎炎	266 (0.7)	62.19	15.47
アミロイド腎	104 (0.3)	68.88	10.28
痛風腎	85 (0.2)	65.94	13.07
先天性代謝異常による腎不全	20 (0.1)	38.20	18.16

原疾患	患者数 (%)	平均年齢	標準偏差
腎・尿路結核	16 (0.0)	73.88	11.92
腎・尿路結石	68 (0.2)	70.59	10.07
腎・尿路腫瘍	190 (0.5)	72.50	11.95
閉塞性尿路障害	107 (0.3)	70.23	13.50
骨髄腫	137 (0.4)	71.59	10.25
腎形成不全	55 (0.2)	38.85	27.70
移植後再導入	221 (0.6)	56.77	15.34
その他	1,313 (3.6)	68.34	15.23
不明	4,091 (11.2)	71.67	13.33
合計	36,534 (100.0)	68.43	13.37
記載なし	14	76.50	11.47
総計	36,548	68.44	13.37

患者調査による集計

数値右のカッコ内は列方向の合計に対する%です。

#### 解説

導入患者の原疾患の第一位は糖尿病性腎症で44.1% (前年の割合より0.2%減少)、第二位が慢性糸球体腎炎で19.4% (0.8%減少)、腎硬化症が12.3% (0.5%増加)、不明が11.2% (0.3%増加)であった。糖尿病性腎症は2008年に初めて前年より0.1%減少し、その後導入患者の原疾患に占める割合はプラトー状態を示している。一方、慢性糸球体腎炎の漸減傾向に変化はなく、腎硬化症・不明はいずれも一貫して増加傾向にある。

導入時の平均年齢は、糖尿病性腎症で66.68歳 (前年より0.55歳上昇)、慢性糸球体腎炎で68.21歳 (0.56歳上昇)、腎硬化症の平均年齢は74.86歳 (0.65歳上昇)であった。全体の68.44歳は2011年の67.84歳と比べて0.6歳の上昇である。比較的若年で導入されているのは、従来通り、腎形成不全、先天性代謝異常による腎不全などの先天異常によるものであった。